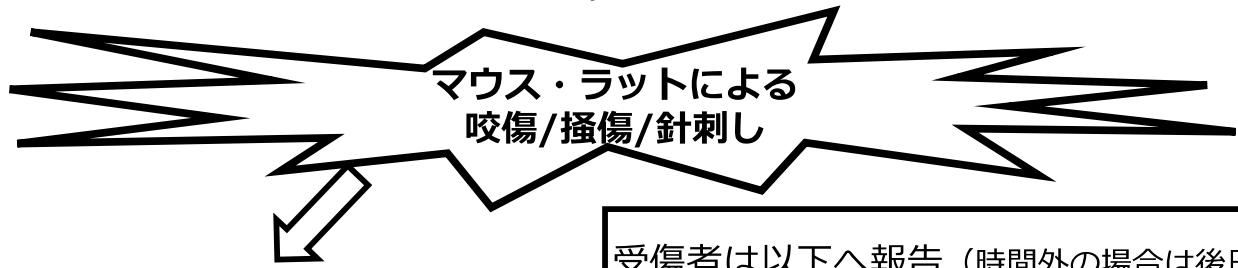


血液・体液曝露が発生したら①

人対動物用

(針刺し・切創/皮膚・粘膜汚染)



① 受傷直後

- ・大量の水道水等で創部を十分に洗浄
- ・血液の絞り出し(口で吸わない)

受傷者は以下へ報告 (時間外の場合は後日可)

【学生】学務課 学生支援担当

0853-20-2088 (8:30~17:15)

msa-gakushien@office.shimane-u.ac.jp

【職員】総務課 労務管理担当

0853-20-2023 (8:30~17:15)

msa-romu@office.shimane-u.ac.jp

出雲保健管理センター

0853-20-2099 (9:00~17:00)

healthizumo@med.shimane-u.ac.jp

② 止血

- ・滅菌ガーゼや乾綿で圧迫

止血困難

③ 消毒・保護

- ・適切な消毒薬で患部を消毒
- 絆創膏等で患部を保護

救急外来に連絡後、受診
(内線2152または2153)

④ アレルギー既往歴ありの場合

- ・受傷後1時間、腫れや全身状態を観察。
- ※蕁麻疹や呼吸困難がないか等

異常あり

⑤ 報告

【職員】上司、および実験動物部門に報告する。

【学生】教員へ報告。学務課へ学生事故報告書及び実習中の災害発生状況報告書を提出する。

血液・体液曝露が発生したら①

医学科**学生**用

(針刺し・切創/皮膚・粘膜汚染)

血液・体液曝露発生

**直ちに受傷部位を
流水で十分に洗浄**

実習指導医に報告
実習指導医は部署のICT委員に報告

受傷学生は以下へ報告
(時間外の場合は後日可)

学務課 学生支援担当

0853-20-2088 (8:30~17:15)

msa-gakushien@office.shimane-u.ac.jp

出雲保健管理センター

0853-20-2099 (9:00~17:00)

healthizumo@med.shimane-u.ac.jp

ICT委員、実習指導医による、**曝露源の特定**

受傷者の血液検査

ICT委員（不在時は指導医）は、院内情報Webの感染症情報⇒「血液体液曝露発生時対応」から**血液検査同意書**と**血液検査依頼票**を印刷して記入し、検査部技師長（内線**2415**）へ直接依頼。

(時間外は検査部当直へ依頼)

患者・受傷学生両者の血液検査を実施する。

結果はICT委員（不在時は指導医）に文書で報告される。

曝露源
患者の
感染症

特定された患者の血液感染症検査を実施し、いずれかが陽性
特定されていない場合は患者血が感染性ありとして対応
(**HBs抗原、HCV抗体、HIV検査**)

対応

すべて陰性
受診必要なし

次ページ以降の該当感染症フローに従う

いずれの場合も、

〔 指導医またはICT委員は感染制御部へ**エピネット報告書**
受傷学生は学務課へ**学生事故報告書**及び**実習中の災害発生状況報告書** 〕を提出する

血液・体液曝露が発生したら①

看護学科**学生用**

(針刺し・切創/皮膚・粘膜汚染)

血液・体液曝露発生

**直ちに受傷部位を
流水で十分に洗浄**

実習指導者・担当教員に報告
実習指導者は部署の看護師長に報告

受傷学生は以下へ報告
(時間外の場合は後日可)

学務課 学生支援担当

0853-20-2088 (8:30~17:15)

msa-gakushien@office.shimane-u.ac.jp

出雲保健管理センター

0853-20-2099 (9:00~17:00)

healthizumo@med.shimane-u.ac.jp

部署の看護師長、実習指導者による、**曝露源の特定**

受傷者の血液検査

看護師長(不在時は実習指導者)は、院内情報Webの感染症情報⇒「血液体液曝露発生時対応」から**血液検査同意書**と**血液検査依頼票**を印刷して記入し、検査部技師長(内線**2415**)へ直接依頼。

(時間外は検査部当直へ依頼)

患者・受傷学生両者の血液検査を実施する。

結果は看護師長(不在時は実習指導者)に文書で報告される。

曝露源
患者の
感染症

特定された患者の血液感染症検査を実施し、いずれかが陽性
特定されていない場合は患者血が感染性ありとして対応
(**HBs抗原、HCV抗体、HIV検査**)

対応

すべて陰性
受診必要なし

次ページ以降の該当感染症フローに従う

いずれの場合も、

(部署の看護師長または実習指導者は感染制御部へ**エピネット報告書**
受傷学生は学務課へ**学生事故報告書**及び**実習中の災害発生状況報告書**) を提出する

血液・体液曝露が発生したら①

学生同士用

(針刺し・切創/皮膚・粘膜汚染)

血液・体液曝露発生

直ちに受傷部位を
流水で十分に洗浄

実習指導医に報告
実習指導医は部署のICT委員に報告

曝露源となった学生および受傷学生
(は以下へ報告 (時間外の場合は後日可))

学務課 学生支援担当

0853-20-2088 (8:30~17:15)

msa-gakushien@office.shimane-u.ac.jp

出雲保健管理センター

0853-20-2099 (9:00~17:00)

healthizumo@med.shimane-u.ac.jp

ICT委員、実習指導医による、**曝露源の特定**

曝露源となった学生、受傷学生の血液検査

ICT委員 (不在時は指導医) は、院内情報Webの感染症情報⇒「血液体液曝露発生時対応」から**血液検査同意書**と**血液検査依頼票**を印刷して記入し、検査部技師長 (内線**2415**) へ直接依頼。

(時間外は検査部当直へ依頼)

曝露源となった学生・受傷学生両者の血液検査を実施する。

結果はICT委員 (不在時は指導医) に文書で報告される。

曝露源
患者の
感染症

すべて陰性
受診必要なし

HBs抗原、HCV抗体、HIV検査を実施し、
いずれかが陽性の場合

対応

次ページ以降の該当感染症フローに従う

いずれの場合も、

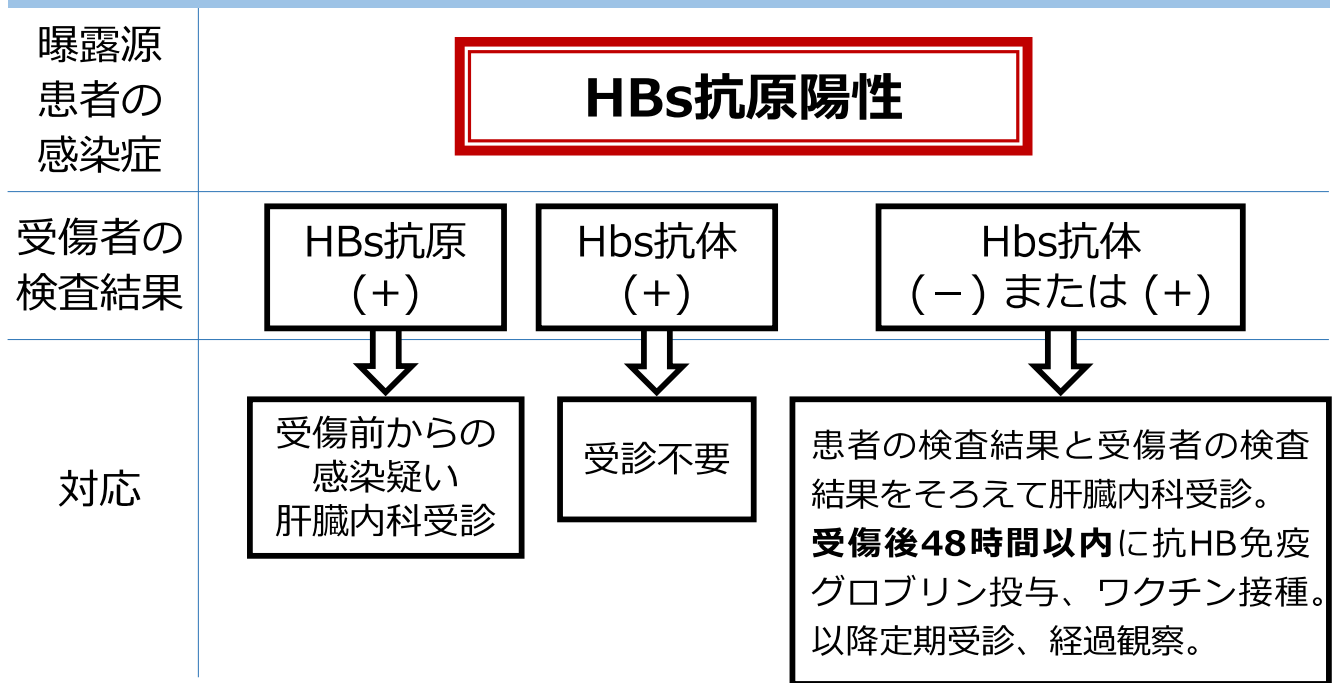
指導医またはICT委員は感染制御部へ**エピネット報告書**

受傷学生および曝露源となった学生は学務課へ**学生事故報告書**

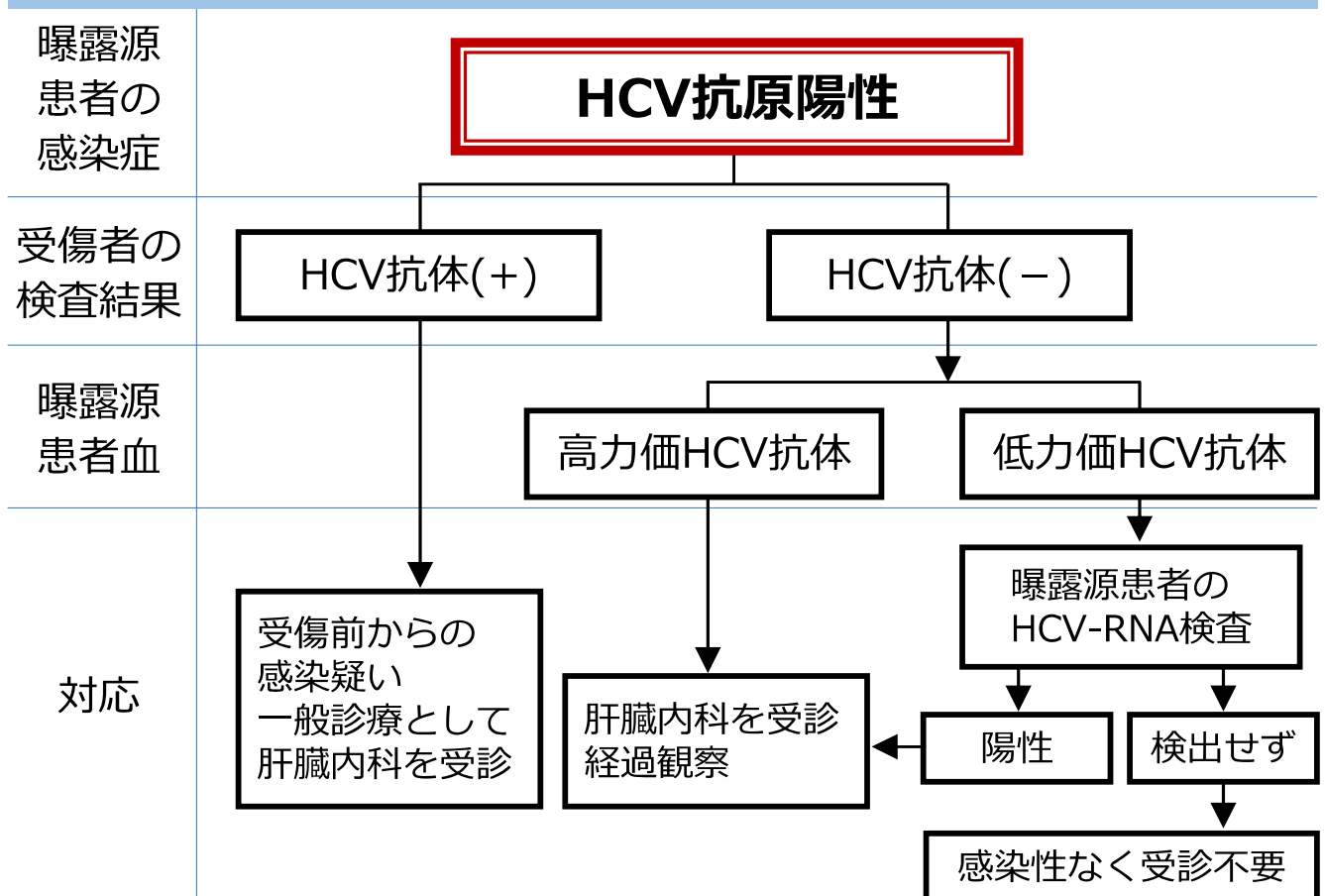
及び**実習中の災害発生状況報告書**

を提出する

血液・体液曝露が発生したら②



血液・体液曝露が発生したら③



血液・体液曝露が発生したら④

曝露源
患者の
感染症

HIV検査陽性

受傷者の
検査結果

HIV検査
(+)

HIV検査
(-)

対応

受傷前からの
感染疑い
血液内科受診

受傷後30分以内に専門医
井上医師：輸血部（血液内科）
病院携帯：070-6692-1825に相談。
（夜間、休日を含む）
受傷者が女性の場合は妊娠の有無を
調べる。

抗HIV薬内服の
自己決定

専門医を定期受診

いずれの場合も、感染制御部へエピネット報告書を提出する